TANDD

T&D Recorder VLD for Windows®

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。 取扱説明書をよくお読みいただき、 正しくお使いください。

© Copyright 2006 T&D Corporation. All rights reserve. 2009.04 16010004040 第2版

■ご注意

i

本ソフトウェアを正しくお使いいただくために本書を必ずお読みください。

- ●本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で 転載、複製、改変などを行うことは禁じられています。
- Microsoft, Windows は米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国 における登録商標です。
- ●会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
- ●本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため 予告なしに変更することがあります。
- ●本書に記載した画面表示内容と、実際の画面表示が異なる場合があります。
- ●本書の内容に関しては万全を期して作成しておりますが、万一落丁乱丁、 ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたらお買い求めになった販売 店または弊社までご連絡ください。
 - また、本製品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、 上記にかかわらず弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了 承ください。
- ●本ソフトウェアは一般の民生・産業用として使用されることを前提に設計されています。人命や危害に直接的または間接的に関わるシステムにはお使いにならないでください。
- ●本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

本ソフトウェアのご利用の前に

【使用許諾契約】

●本ソフトウェアのご利用に関しては、本ソフトウェア同梱の使用許諾 契約書への同意が必要となります。ご利用の前に使用許諾契約書をよ くお読み下さい。

【著作権】

- T&D Recorder VLD for Windows(プログラムおよび関連ドキュメン トを含める)の著作権は株式会社 ティアンドデイに帰属します。
- ●転載および雑誌・商品などに添付して再配布する場合は、株式会社 ティアンドデイの許諾を必要とします。この場合の再配布については 株式会社ティアンドデイ営業までご連絡ください。
- T&D Recorder VLD for Windows に改変を加えないでください。

はじめに



■はじめに

本ソフトウェアのご利用の前に	ii
T&D Recorder VLD for Windows®とは	1
基本的な使用手順	5

■準 備

インストール
各アプリケーションの操作方法
 ・起動方法
・ヘルプの使い方 10
ユーザー管理ツール:ユーザー登録1
:その他の機能 1:
データコレクタをパソコンに接続する
・USB ケーブルを接続する1
・RS232C (シリアル) 通信ケーブルを接続する 18
通信ポートの設定
・USB 通信をする1!
・RS232C (シリアル) 通信をする 2
データロガーをパソコンに接続する
・データコレクタを経由して通信する 23
・コミュニケーションポートを経由して通信する
子機登録
・子機登録をする2
 ・実際に通信できるか確認する
子機登録:その他の機能

■基本的な機能

RTR-51/RTR-52:記録スタート	35
:記録データ吸い上げ	37
RTR-53:記録スタート	39
:記録データ吸い上げ	43
データコレクタ:記録データ吸い上げ	45
: その他の機能	48
:本体の時刻設定	51
:上下限値設定	52

■温度・湿度グラフ

温度・湿度グラフ画面の名称と機能	53
データー覧表画面の名称と機能	55
グラフ表示方法の変更	
・データ表示部の色を切り替え	57
・指定 ch. グラフ表示 ON/OFF	57
・Max. Min. Avg. 計算時間設定	58
・記録条件の編集	59
・ch. データの並び替え	60
・指定 ch. データ削除	62
 ・単位切り替え℃⇔°F 	62
・グラフカラー変更	63
・画面をクリップボードにコピー	64
グラフ操作方法 ・拡大を元に戻す	65
 ・倍率アップ/倍率ダウン 	65
・AB カーソル右移動/AB カーソル左移動	65
・グラフ右移動/グラフ左移動	65
・グラフ上移動/グラフ下移動	65
・縦軸フルスケールの設定	65
グラフ印刷	
・グラフ印刷	67
 ・保存した印刷状態の読み込み 	68
記録データ保存	69
テキストファイル作成	70
$\mu_{\pm} = \lambda_{\pm} + \mu_{\pm} = \mu_{\pm}$	74
休仔ノア1ルを開く	71
■スの仏の継知	

■その他の機能

履歴ビューア	73
再インストール	77
システムの移動について	78
TandD Recorder Access Control について	79

■その他

困ったときは	81
製品仕様	85

準備

基本的な機能

グラフ その他の機能

T&D Recorder VLD for Windows®とは

■概要

T&D Recorder VLD for Windows は、FDA 21 CFR Part 11 に対応するため以下の機能を持っています。

●パスワードによるソフトウェア操作の保護

本アプリケーションは、ユーザー ID とパスワードによって管理されているため、担当 者以外により、ソフトウェアが操作されることはありません。また、本アプリケーショ ンは、Windows 2000 および Windows XP でのみ動作しますので、オペレーティングシ ステムによるアクセス権限が可能です。

●パスワードによるデータの改ざん防止

本アプリケーションは、ユーザーIDとパスワードによって管理されているため、担当 者以外により、吸い上げデータが改ざんされることはありません。また、吸い上げたデー タは暗号化され、データが改ざんされた場合は、ファイルが開けなくなります。

●ソフトウェアの操作履歴の記録

操作の履歴(監査証跡)を自動的に記録します。

その他に、データロガーの記録設定、記録データの収集、記録データのグラフ・ 一覧表示・ファイル化・印刷等の処理が簡単にできます。

また、データロガー(無線通信タイプ:RTR-51/52/53)とデータコレクタ(無 線通信タイプ:RTR-57U/57C)間を特定小電力無線で通信を行う場合、子 機登録等の設定もできます。

▲注意

本書内でデータコレクタと表現されている機種は、無線通信タイプ:RTR-57U/57C と無 線通信未対応タイプ:TR-57U/57C です。

■基本的な機能

●ユーザー登録

T&D Recorder VLD for Windows は、ユーザー登録してあるユーザーだけ が使用できます。ログイン時に必要な User ID と Password をユーザーご とに登録します。また、ログインできたとしても操作の権限が無ければそ の操作ができないように操作の権限の設定、アプリケーションの起動後、 指定した時間の間、何も操作しなかった場合、自動的にログアウトする設 定もできます。

●グループ・子機登録

データコレクタ(無線通信タイプ:RTR-57U/57C)とデータロガー(無 線通信タイプ:RTR-51/52/53)間を無線通信する場合、パソコンであら かじめデータコレクタに子機として登録する必要があります。子機はグ ループ単位で処理・管理できます。

●記録設定

チャンネル名・記録間隔・記録モード等の記録条件の設定ができます。記 録開始時刻を本体に設定すると、設定された日時から記録を開始します。

●データ収集

記録したデータをパソコンで吸い上げファイル・グラフ化できます。

吸い上げたデータはグラフ表示時に User ID と Password が必要な暗号化 ファイルで保存されます。

データコレクタは、収集したデータの一覧表からデータを指定して吸い上げ ができます。また、異なる機種RTR-51/52/53の記録データを一括処理で きます。

●温度・湿度グラフの表示

データロガーで記録した温度・湿度データをグラフに表示します。

●8ch. 分のデータを一括表示

本体/データコレクタから吸い上げた温度/湿度データを1つのグラフ に表示できます。また、最高8チャンネル分まで追加できます。

●マウスで簡単に拡大表示

マウス操作でグラフの拡大・縮小や表示の切り替えが簡単にできます。

●任意の期間の最高・最小・平均を計算表示

グラフ画面の各チャンネルデータ一覧に表示される最大・最小・平均値 を算出する範囲を任意で設定できます。

●テキストファイル作成

記録データは、任意の範囲(期間)を一般的なテキスト形式(CSV 形式 等)でファイル化し、Excel や Lotus 等の表計算ソフトや解析ソフトでデー タを使用できます。

●温度・湿度グラフの印刷

グラフ画面に表示されているグラフをそのままのカラーで印刷できます。 また、印刷状態を保存ができ、過去に印刷したグラフと同じグラフの印刷 ができます。

●測定データの一覧を表示/印刷

グラフ画面に表示されたデータを一覧表示し、印刷できます。

●色によって区別して表示

最高値を赤、最小値を青、平均値をピンクで色分けして一覧に表示します。

●一覧表の印刷

表示された一覧表は全てまたはページを指定して印刷できます。

●操作履歴表示

アプリケーション内で操作権限が必要な操作は、操作履歴が記録され、 T&D Recorder VLD for Windows をインストールしたフォルダに履歴ファ イルが保存されます。また、履歴情報はテキスト形式で保存できます。

はじめに

基本的な使用手順

【準備】

1.T&D Recorder VLD for Windows のインストール

T&D Recorder VLD for Windows を使用するパソコンに T&D Recorder VLD for Windows をインストールします。

T&D Recorder VLD for Windows をインストールすると、ユーザー管理ツール、履歴ビューア、子機登録、各データロガーの設定、温度・湿度グラフ等のアプリケーションがインストールされます。

▲注意

・インストールが可能な OS は Windows 2000 / XP です。

・TR/RTR-57U に付属しているソフトウェア T&D Recorder for Windows とT&D Recorder VLD for Windows は同一のパソコンにインストールしないでください。 ⇒ P.7

2. ユーザー登録をする (ユーザー管理ツール)

T&D Recorder VLD for Windows の各アプリケーションのログイン時に必要な User ID / Password /操作権限等を登録します。⇒ P.11

3. データコレクタとパソコンの通信準備

電池、通信ケーブルを接続し、パソコンと通信ができるように通信ポート (USB 通信または RS232C 通信)の設定等をします。⇒ P.17

4. データロガーとパソコンとの通信準備

データロガーと光通信で、記録設定・記録データ吸い上げを行う設定をします。また、子機登録するための準備をします。⇒ P.23

5. 子機登録をする (無線通信を行う場合)

無線通信タイプのデータロガーとデータコレクタ間で無線通信ができるように、データコレクタの子機として登録する必要があります。子機はグルー プ単位で処理・管理ができます。⇒ P.25

【基本的な操作】

1. 記録設定

データコレクタ等を経由して、子機毎に記録条件の設定をします。

2. 記録データの吸い上げ

データロガーで記録したデータを直接パソコンに接続吸い上げまたは データコレクタで収集したデータをパソコンで吸い上げします。 吸い上げた記録データは、温度・湿度グラフで表示・印刷・編集できます。

【温度・湿度グラフ】

パソコンに吸い上げた記録データのグラフ表示、一覧表示、またその印刷、 テキストファイル化ができます。グラフは最大8チャンネルまで同時に表 示可能で、表示非表示の切り替え、チャンネルの移動、チャンネルの削除、 データの記録開始時間を変更したり、グラフ表示の色を変更等もできます。

インストール

● Windows[®] は正常に起動しますか?

Windows が正常に起動しないと T&D Recorder VLD for Windows の中のアプリケーションも正常にインストール または 起動できないことがあります。

●アプリケーションを終了してください。 他のアプリケーションが動作している場合はすべて終了させてください。 ウィルスチェックプログラム等の常駐ソフトがありましたら終了させてください。

● T&D Recorder for Windows をアンインストールしてください。

本体付属のソフトウェア T&D Recorder VLD for Windows は T&D Recorder for Windows と同一のパソコンにインストールしないでください。T&D Recorder for Windows がイ ンストールしてある場合は、アンインストールしてください。

●動作可能な OS は Windows 2000 / XP です。

- ●T&D Recorder VLD for Windows をインストールするパソコンでは、アド ミニストレータ(Windowsの管理者)の権限が必要です。
- 1. Windows を起動します。
- 2. 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。 しばらくすると [インストールプログラム] ウィンドが開きます。



※自動的に[インストールプログラム] 画面が開かない場合は、CD-ROM ドライブを ダブルクリックして手動で起動してください。

また、CD-ROM ドライブをダブルクリック後に CD-ROM のフォルダ内が表示され た場合、CD-ROM 内の [start.exe] をダブルクリックしてください。

- [T&D Recorder VLD for Windows のインストール]を選択し、[実行]ボ タンをクリックすると、インストールが開始します。
- 4. 製品シリアル番号の入力画面が表示されます。製品シリアル番号はソフトのパッケージ内側のシールに印刷されています。間違いのないように入力し[次へ]ボタンをクリックします。
- 内容を確認しながら、指示に従ってインストールを行ってください。 インストールが完了すると、Windowsの[スタート]メニューのプログ ラムに T&D Recorder VLD for Windows と登録されます。

	Microsoft Office y=//		
	m T&D Recorder VLD for Windows	•	RTR-51_52
	m TR-7W for Windows 1.00	•	📽 RTR-53
	m RTR-5W for Windows 1.00		2015年1月11日 データコレクタ
すべてのプログラム(Ⴒ) 🏓	m WDR-3 for Windows		🌆 ユーザー管理ツール
	T&D Recorder for Windows Ver.1.41		温度・湿度グラフ(VLD)
	m アクセサリ		子機登録
🦺 X9-1- 🛛 🕲 🛍 🛍	🛅 スタートアップ		🛃 履歴ビューア

準備

各アプリケーションの操作方法

■起動方法

T&D Recorder VLD for Windows では、各アプリケーションを起動するのに User ID と Password を入力する必要があります。

 Windows●のスタートメニューのプログラムの中から T&D Recorder VLD for Windows よりアプリケーションをクリックすると起動します。



- 2. アプリケーションを起動すると、Login ダイアログが表示されます。 User ID、Password を入力し、[OK] ボタンをクリックし、ログインします。
 - User ID / Password(ユーザー登録)の設定はユーザー管理ツールで行います。 User ID / Password の初期設定値は、User ID : admin / Password : passwd です。
 - ●ユーザー管理ツールはアドミニストレータ (User ID が admin) 以外のユーザーはロ グインできません。



■ヘルプの使い方

各アプリケーションの使い方は、アプリケーションの中のヘルプで詳しく説 明しています。

 ●メニューバーの[ヘルプ]-[ヘルプ]、または[ヘルプ]-[トピックの検索] から起動します。



- ※ソフトウェアによりタグの種類が違います。
- 目次:分類されたトピックをクリックすると説明が表示されます。
- キーワード:キーワードリストよりキーワードを選択し、[表示]ボタンをクリックする と説明が表示されます。
- 検索:検索したいキーワードを入力し、[検索開始]ボタンをクリックすると、入力し たキーワードが含まれているトピックが表示されます。トピックを選択し、 [表示]ボタンをクリックすると、説明が表示されます。
- ダイアログボックスの ボタンをクリックすると、ダイアログボック ス内の説明が表示されます。
- ●温度・湿度グラフ画面では、ツールバーの 図をクリックしてからメニュー、 アイコン、メインウィンドウ上をクリックすると、説明が表示されます。

準備

ユーザー管理ツール:ユーザー登録

T&D Recorder VLD for Windows の各操作をするには User ID/ Password /操作の権限が必要です。ユーザー管理ツールでは、ユー ザーごとに User ID / Password /操作の権限を登録します。

■ユーザー管理ツールへのログイン

ユーザー管理ツールはアドミニストレータ(User ID が admin) 以外はログ インできません。User ID: admin でログインしてください。 なお、Passwordの初期値は Passwd です。 ※ Password は [ユーザー権限修正]で変更できます。

■ユーザー管理ツールの機能

ユーザー管理ツールでは以下の操作ができます。

- ・ユーザー登録
- ・ユーザーの操作権限の設定
- ・共通項目の設定 ※アドミニストレータ (User ID が admin)のみ
- ・ユーザー削除 ※アドミニストレータは削除できません。

User ID リストではアドミニストレータは、赤文字で表示されています。

	トレーザー管理ジール トレージョンサイクロジール トレージークロジール トレージークロジークロジール トレージークロジークロジール トレージークロジークロジール トレージークロジークロジー トレージークロジークロジー トレージークロジークロジークロジークロジー トレージークロジークロジークロジークロジークロジークロジークロジークロジークロジーク	V #200 - 11400	6	
User IDリストー	User ID User-1 User-2	Ber ID Passaord パスワード変更日時 聖辞、変更日時	Iodmin Ipazzad 2015/09/26 13:51'31 2005/09/26 13:51'31	
	user=8 user=4 user=5	共通項目 バスワード有効期間 無線作時のロジオフ時間	:30日 :20分	
	user-7	RTRS 記録設定 記述確整信 データ吸い上げ	100	
		データコレクタ テータ情報後 データ情報後 データ取い上げ 4.1888時間 4.1888時間 4.1888時間 7.4824情報取得 子格244情報取得	8	
		温度温度グラフ データ開始 データ編集と保存	18	
		<u>限度ビューア</u> 操作機動の構成 メモ	:0	
		181		2



■ユーザー登録をする

 [ユーザー管理]メニューより[ユーザー登録]を選択すると、User IDと Passwordの入力画面が表示されます。User IDと Passwordを入力します。

● User ID と Password は、半角のアルファベット(英字)、数字、"-"、"_"を使い5~ 16 桁になるように入力してください。 ※英字は大文字と小文字を区別しますので注意してください。例) abc123 と ABC123

※英子は大文子と小文子を区別しますので注意してくたさい。例) abc123 と ABC123
 ●既に登録されている User ID は登録できません。

2	-サー登録 🛛
User IDと Password	User ID user-1
を入力する	Password user-1
ユーザー操作権限	RTRF データコレクタ 温度(温度グラフ 原産ビューア メモ
の範囲を設定する	マ 記録話定
[OK] ボタン	ОК 4кург

2. 各アプリケーション操作時のユーザー操作権限の範囲を設定します。

●重要な操作には操作の権限が設定できます。たとえログインできたとしても、操作の権限が無ければ、その操作はできません。

- ・メモは全角 32 文字(半角 64 文字)まで入力ができます。
- ・権限を1つも持たないユーザーは登録できません。
- 3. [OK] ボタンをクリックすると、登録が完了します。

準

ユーザー管理ツール:その他の機能

ユーザー管理ツールでは、以下の操作もできます。

■ユーザー権限修正:[ユーザー管理]メニューより

※[ユーザー権限修正]画面は User ID リストの User ID を右クリックして表示されるポッ プアップメニューからも起動できます。

登録済みユーザーの権限を修正します。

▲注意

・アドミニストレータ (User ID が admin) は、メモ・Password のみ修正ができます。 ・User ID の修正はできません。

1.[ユーザー管理]メニューより[ユーザー権限修正]を選択します。

	ユーザー権限修正	X
	User ID user-1	
	Password user-1	
	 マ 記録設置 マ 記録設置 マ 設定値受信 マ デー列取い上げ 	
[ок]		

2. パスワード、各タブをクリックし、修正します。

- Password は、半角のアルファベット(英字)、数字、"-"、"_"を使い5~16 桁になるように入力してください。
 ※英字は大文字と小文字を区別しますので注意してください。
 例) abc123 と ABC123 は区別します。
- **3.** 修正後、[OK] ボタンをクリックすると、修正が完了します。

■共通項目設定:[ユーザー管理]メニューより

※[共通項目設定]画面は User ID リストの User ID を右クリックして表示されるポップ アップメニューからも起動できます。

設定したパスワードの有効期間の設定、一定時間何も操作しなかった場合に 自動的にログアウトする機能の設定します。

※アドミニストレータ (User ID が admin) にはパスワードの有効期限はありません。

※自動的にログアウトしてしまった場合、再ログインの有無にかかわらず、ウィンドウの タイトルバーは操作できるようになっています。タイトルバーの[終了]ボタンからア プリケーションを終了することができます。ファイル名の指定ダイアログなどの Windows 共通ダイアログはタイムアウトの対象外です。



1.[ユーザー管理]メニューより[共通項目]を選択します。

共通項目	(3
バスワード有効期間	30日 💌	
 無操作時のログオフ時間	20分 💌	
OK	キャンセル	

- 使用環境に応じて設定を変更してください。
 ・パスワードは有効期間:30日間・90日間・120日間・無期限。
 ●無操作時のログアウト時間:5分・10分・20分・無期限。
- **3.** [OK] ボタンをクリックすると、修正が完了します。

準

■ユーザー削除:[ユーザー管理]メニューより

※[ユーザー削除]画面は、User ID リストの User ID を右クリックして表示されるポッ プアップメニューからも起動できます。

登録済みユーザーを削除します。

▲注意

・アドミニストレータ(User ID が admin) は削除できません。

1. User ID リストより、削除したいユーザーを指定します。

2.[ユーザー管理]メニューより[ユーザー削除]を選択します。

3. メッセージが表示され、[OK] ボタンをクリックすると、削除されます。



■時刻書式:[表示]メニューより

時刻の表示形式の切り替えができます。

[表示]メニューより[時刻書式]にマウスポインタを合わせると、時刻の表示形式が表示されます。

表示⊙			
時刻書式(I)	▶ • 年/月/日	時:分'秒	7
	月/日/年	時:分'秒	
	日/月/年	時:分'秒	

2. 表示したい形式をクリックすると、設定が完了します。

準備

データコレクタをパソコンに接続する

■ USB ケーブルを接続する。

USB 通信ケーブル(US-15C)でパソコンに接続します。



▲注意

- ・USB デバイスドライバのインストールが必要です。インストール方法は本体取扱説明書 を参照してください。
- ・USB 通信ケーブルは接触不良にならないように確実に差し込んでください。

■ RS232C (シリアル) 通信ケーブルを接続する。

RS232C (シリアル) 通信ケーブルでパソコンに接続します。



▲注意

- ・接続場所が違うと通信ができないので注意してください。
- ・通信ケーブルは接触不良にならないように確実に差し込んでください。
- ・57U シリーズで RS232C (シリアル) 通信を行う場合は、オプションのシリアル通信ケーブル TR-07C をお使いください。
- ・57C シリーズで RS232C (シリアル) 通信を行う場合は、付属のシリアル通信ケーブル をお使いください。

通信ポートの設定

パソコンとの通信で使用する通信ポートの設定をします。 設定方法には自動検出と任意で設定の2種類あります。 ※通信ポートの設定は、違う機種の設定画面でも行えます。

■ USB 通信をする

※機器に接続されている USB ケーブルを USB ドライバをインストールした USB ポートに接続しておいてください。

▲注意

・USBドライバが正常にインストールされていないと、USB通信はできません。USBドライバのインストール方法はTR/RTR-57Uの本体取扱説明書を参照してください。
 ・USBケーブルは、接触不良が起きないように確実に差し込んでください。

【自動検出】

現在パソコンに接続されている通信方法を検索し、自動的に設定します。

1. [通信ポート設定] 画面を開きます。

 [USB 通信をする] にチェックし、[自動検出] ボタンをクリックすると、 検出を開始します。



※複数の機種を同じ設定にする場合、[全ての機種について USB 通信に設定] にチェッ クしておくと、全機種が USB 通信で設定されます。

※複数の機器を USB ポートに接続してある場合は、最初に検出された機器に設定し ます。 検出が完了すると、メッセージが表示されます。[はい]ボタンをクリックすると、設定が完了します。

	■T&D Recorder VLD for Windows - TR-57C/RTR- 557(P) 通信(2) へルブロ) [記録デーが取り上げ 時刊設定 上下発設定 通信ボートの設定]	57C/RTR-57U 🔳 🗉 🕻
検出結果	株出結果: データコレクタを検出し変した。	自約株出
	●USB動物をする ビ金での機種についてUSB動物	和口説を USB通信
	OR52320通信をする 開足可能な00Mボート	

準備

※ USB 通信にした場合は RS232C(シリアル)通信はできません。RS232C(シリアル) 通信を行う場合は、設定を変更してください。

【任意で設定】

通信方法を指定し、設定します。

- 1.[通信ポート設定]画面を開きます。
- **2.** [USB 通信をする] にチェックし、[設定] ボタンをクリックします。

核出結果	•		自動検出	
ックする	増ぎする	■全ての機種についてUSB影響に設定	-現在の調催方法	— 現在通信方
O R5232	の通信をする	INETIECOME-1 © COMI COM2 COM3 COM4 COM5 COM6 COM7 COM8		
		□ COMB以上の通信ポートを使用する 通信ポート者号 : 9 💌	NE .	[設定]
		◎全ての線種について共通00Mポートに設定	~11/7	(ボタン)

※複数の機種を同じ設定にする場合、[全ての機種について USB 通信に設定] にチェックしておくと、全機種が USB 通信に設定されます。

3. メッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックすると、設定が完了 します。

■ RS232C (シリアル) 通信をする

※機器に接続されているシリアル通信ケーブルをシリアルポートに接続して おいてください。

▲注意

・シリアル通信ケーブルは、接触不良が起きないように確実に差し込んでください。

【自動検出】

現在パソコンに接続されている通信方法を検索し、自動的に設定します。

1.[通信ポート設定]画面を開きます。

2. [RS232C 通信をする] にチェックし、[自動検出] ボタンをクリックす ると、検出を開始します。

	枝出結果:		8408E	[自動検出
	○ USBi動きをする	☑ 全ての根種についてUSB新創に設定	現在の通信方法	
ェックする —	● PS2200000075	BRETIRECOMPK-F ⊙ comi com2 Com3 com4 ○ com6 com6 com7 com8		━━ 現在通信方
		○comeは上の通信ボートを使用する 通信ボート参号: 9 マ マ 全工の規範についてお通Comがボートに設定す	BR .	

※複数の機種を同じ設定にする場合、[全ての機種について共通 COM ポートに設定] にチェックしておくと、全機種が指定された COM ポートで設定されます。

- 検出が完了すると、メッセージが表示されます。[はい]ボタンをクリック すると、設定が完了します。
 - ※ RS232C 通信に設定した場合は USB 通信はできません。 USB 通信を行う場合は設 定を変更してください。

	- 180 Recordsr VI.D for Windows - TR-576/RTR-576/RTR-570 - 1999			
検出結果	検出結果: データコレクタをCOMIC検出しました。	自動株出		
	●USB動物をする 回金での機種についてUSB動物に設定	現在の調査方法 R523203副論		
	● RS2320通信をする 設定可能なCOMボート			

※検出・通信できなかった場合は、本書の "困ったときは"(81 ページ~) を参照してください。

【任意で設定】

通信方法を指定し、設定します。

1.[通信ポート設定]画面を開きます。

2. [RS232C 通信をする] にチェックし、[設定] ボタンをクリックします。

	秋出結果:		00%E	
	○USB通信をする	✓金での根種についてUSB影響に設定	現在の通信方法 USB通信	— 現在通信方法
チェックする=	● R52200)目信をする	BRETIRGCOMK-F O comi com2 00008 com4 ○ comi com6 com7 com6		
		COMBは上の通信ボートを使用する 通信ボート参号 : 9 マ	INT O	[設定] ボタン

※複数の機種を同じ設定にする場合、[全ての機種について共通 COM ポートに設定] にチェックしておくと、全機種が指定された COM ポートで設定されます。

3. メッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックすると、設定が完了 します。 準

データロガーをパソコンに接続する

■データコレクタを経由して通信する。

データロガーをデータコレクタに接続し、光通信によってパソコンと通信します。子機登録は光通信で行います。

- データコレクタとパソコンを接続します。
 ※データコレクタとパソコンの接続については17・18ページを参照してください。
- 2. データコレクタにデータロガーの背面を上にして載せると通信できます。



■コミュニケーションポートを経由して通信する

データロガーをコミュニケーションポートに接続し、光通信によってパソコ ンと通信します。

- コミュニケーションポートとパソコンを接続します。
 ※コミュニケーションポートとパソコンの接続についてはコミュニケーションポートの取扱説明書を参照してください。
- コミュニケーションポートにデータロガーの背面を上にして載せると通信できます。

コミュニケーションポートの上に 背面を上にして載せる パソコンに接続した通信ケーブルを コミュニケーションポートに接続



準備

子機登録

無線通信タイプのデータコレクタRTR-57U/57C と無線通信タイプの データロガーRTR-51/52/53 との間で無線通信を行うためには、 データロガーを使用するデータコレクタの子機として登録する必要 があります。

■子機登録をする

- 1. データコレクタとパソコンを接続し、通信ができるようにします。
- データコレクタに子機登録を行うデータロガーの本体を背面にしての載 せます。

※データロガーをのせていない場合は、データコレクタにのみ子機情報を登録します。

- 子機登録]を起動します。
 ※「子機登録]画面は各機種の設定画面からも表示できます。
- メッセージが表示され、[はい]ボタンをクリックすると、登録情報取得 を開始します。
- 5. [登録可能数の設定]ボタンをクリックし、データコレクタに登録するグループの最大数と1グループにつき登録可能な子機の最大数を選択します。



6. [OK] ボタンをクリックすると、登録可能数の設定が完了します。

▲注意

・子機登録後に登録可能数を変更すると、子機登録情報が全て消去されてしまいます。

7. [新規登録]ボタンをクリックすると、登録画面が表示されます。



グループ名・子機名・通信周波数チャンネルを設定します。

	新規登録 🛛	
	登録可能数 グループ数:60 子根数: (15ループ数) 64	
グループ名を入力する 	びループ名 GROUP.2 図株 ●	[登録] ボタン
[設定する] にチェックし、 チャンネルを選択する	通信周波数5+02ネル	
子機名を入力する —		

●グループ名

半角8文字まで入力できます。(全角不可) GROUP1は初期設定で登録されています。すでに登録されている名前を選択し、一部 を変更して別のグループ名として登録できます。

▲注意

・一度登録すると、グループ名の変更できません。

●通信周波数チャンネル

[設定する]にチェックすると、チャンネル番号の選択ができます。通信周波数チャンネルは、1グループにつき1チャンネル(チャンネル番号0~3)設定できます。
 ※初期設定で登録されているグループ:GROUP1は0で設定されています。
 ※設定しない場合は、自動的に割り振られ、設定されます。

▲注意

- ・新規グループ登録時のみ設定できます。
- 一度設定すると変更できません。
- ・指定通信(周波数)チャンネルにより同じグループ内の子機と通信します。他のデータコレクタが同じ通信チャンネルで通信すると、通信が不安定になる場合があるので注意してください。

●子機名

半角8文字まで入力できます。(全角不可) すでに登録されている名前を選択し、一部を変更して別の子機として登録すること もできます。

- 8.[登録]ボタンをクリックすると、登録が完了します。
- ※同じグループ内に複数のデータロガーを登録する場合は、子機を載せ替え、別の子機名 で7.8.を繰り返してください。
- ※他のグループ名で登録する場合は、子機を載せ替え、別のグループ名で7.8.を繰り返 してください。
- ●登録が完了すると、登録情報一覧に表示されます。

			145		
グループ名 通信周波数	GROUP1 0	GROUP_2 3		登録情報研究得	一覧の情報を転送
番号	子機名	子機名	-	新規登録	2000AUF
2		koki_2 koki_3		支更/削除	登録可能数の設定

■実際に通信できるか確認する

データコレクタから登録した子機を検索し、通信できるか確認できます。

データコレクタ本体液晶のメインメニューより [WL コキケンサク]を実行します。



2. 検索範囲を選択し、実行すると検索を開始します。

・全てのグループを選択した場合:登録されている全てのグループの検索を開始します。

・グループ指定を選択した場合:指定したグループ内の子機検索を開始します。



●通信可能な子機名の頭に4マークが表示されます。



※詳しくは、データコレクタ本体付属の取扱説明書を参照してください。

準

子機登録:その他の機能

子機登録では、以下の操作もできます。

※パソコンにデータコレクタを接続し、データコレクタの登録情報を取得し てから行ってください。

全绿情報一覧			
グルーフ名 通信周波数	GROUP1 0	GROUP_2 3	
番号	子機名	子機名	#(3) ··· (4)
1 2 3		koki_1 koki_2 koki_3	支15)%. 全排可6)缺定.
			通信 7 段定.
			※ 注: データコレクタの子根登録情報を取得していない場合は、 子様情報の登録/変更/利弊をすることはできません。
			子板情報
			グループ名 : GROUP_2 通信間波数チャンネル:3 子祝香号 :3 子祝香号 : Koki_3
			データコレクタ登録状況 :有 無線通信による記録スタート :計可
		~	Z11 0 K=

- ①「登録情報取得〕ボタン
 ⑤「変更/削除〕ボタン
- ③[新規登録]ボタン
- ④[初期化]ボタン
- (2)「一覧の情報を転送〕ボタン
 (6)「登録可能数の設定〕ボタン
 - (7) [通信ポートの設定] ボタン
 - ⑧「子機情報表示」ボタン

■登録ファイルを開く:[ファイル]メニューより

既存の子機情報登録ファイルを開きます。

- 1.[ファイル]メニューより[登録ファイルを開く]を選択します。
- 開きたい子機登録情報ファイルを指定し、[開く]ボタンをクリックすると、 表示されます。

■登録内容をファイルに保存する:[ファイル]メニューより グループ・子機の登録内容をファイル保存できます。

▲注意

・保存ファイルから開いた登録情報は編集できません。

- 1.[ファイル]メニューより[登録内容をファイルに保存]を選択します。
- 2.保存場所を指定し、ファイル名を入力します。
- 3. [保存] ボタンをクリックすると、保存されます。

■テキスト形式で保存する:[ファイル]メニューより

グループ・子機の登録内容をテキスト形式で保存できます。

▲注意

・テキストファイルは読み込むことはできません。

・保存ファイルから開いた登録情報は編集できません。

1.[ファイル]メニューより[テキスト形式で保存]を選択します。

- 2.保存場所を指定し、ファイル名を入力します。
- 3. [保存] ボタンをクリックすると、保存されます。

準

■変更/削除:[実行]メニューよりまたはボタン 登録してある子機名の変更、グループ・子機の削除ができます。



● [変更] ボタン:子機名のみ変更ができます。

1. 変更したい子機のグループを指定します。

2. 子機番号または子機名を選択し、新しい子機名を入力します。

3. [変更] ボタンをクリックすると、変更した情報が送信されます。

● [グループ削除] ボタン

▲注意

・グループを削除すると、そのグループ内の子機登録も自動的に削除されます。

- 1. 削除したいグループ名を指定します。
- 2. [グループ削除] ボタンをクリックすると、削除されます。

● [子機削除] ボタン

1. 変更したい子機のグループを指定します。削除したい子機のグループ名を選択します。

2. 子機番号または子機名を選択します。

3.[子機削除]ボタンをクリックすると、削除されます。
■一覧の情報を転送:[実行]メニューよりまたはボタン

データコレクタの登録情報が同じであれば、1台の子機に対して複数台のデー タコレクタから通信できます。

1 台のデータコレクタの登録情報を複数台のデータコレクタに転送できます。

▲注意

- ・転送すると転送前の登録内容は全て上書きされてます。
- ・設定済の登録可能数より転送するファイルの登録可能数が多い場合は、転送できません。
 登録可能数を変更してください。
- 1. 転送したい子機情報を登録情報一覧に表示します。
- 転送するデータコレクタをパソコンに接続し、[一覧の情報を転送]ボタンをクリックすると、転送を開始します。

■初期化:[実行]メニューよりまたはボタン

データコレクタの子機情報を初期化します。

▲注意

- 初期化を行うと現在のデータコレクタに保存されている情報は全て削除され、初期状態 (出荷時の状態)になります。
 ※初期状態は、グループ名:GROUP1 /子機:無し/通信周波数:0です。
- 1. 初期化したいデータコレクタをパソコンに接続します。
- 2. [初期化] ボタンをクリックすると、初期化を開始します。

32

準

■子機情報表示:[実行]メニューよりまたはボタン

データコレクタの上に載せてある子機の情報を表示します。 他のデータコレクタに登録されている子機の情報も表示できます。

1. 子機情報を表示したい子機を背面を上にしてデータコレクタに載せます。

2. [子機情報表示]ボタンをクリックすると、登録情報が表示されます。

グループ名 通信用実験	GROUP1 0	GROUP,2 3		2:0140009 -%01402402
當카	子根名	子様名	2	#184.52.08. 700911:
1		kolij kolij2		東東/808 . 象持可能的自然可.
-				
				Mark-round-
				会一方した外の子様重要価額を取得していない場合は、 子被価格の重勝/変更/目前をすることはできません。
			10	子供情報
				7/5-7-5-6: : OROUP,2
				瑞士 1412 子機作
				デーカコレクク登録状況 有 無線通知に23記録スクート 許可

●グループ名

子機本体が属するグループの通信周波数チャンネル番号

●通信周波数チャンネル 子機本体が属するグループの通信周波数チャンネル番号

●子機番号

子機本体の子機番号

●子機名

子機本体の子機の名前

●データコレクタ登録状況

現在接続しているデータコレクタに子機登録されているか、いないか。データコレ クタが登録情報を取得していない場合は[---]と表示されます。

●無線通信による記録スタート 無線通信による子機の記録スタート設定の保護

準備

RTR-51/52:記録スタート

■ RTR-51/52 がパソコンと通信できるように接続する 接続方法は、23・24 ページを参照してください。

■記録条件の設定をする

1.[RTR-51_52] を起動します。

2.[記録スタート]タブをクリックし、記録条件の設定をします。

2.58/76 グループも: ※24(中国大球を 通常(中から称示 子根を: されまず、 2.50年の月の日 134 009 274 2.50年の月の日 134 009 274 2.50年の月の日 1.50年の1.5	録開始 [、] タン
子催名 : されます 12時 00分 28秒 設定値受信	
記録開始日時 予定終了日時	
	値受信
④予約スタート 2005 年 09 月 07 日 2005年 12月 27日 記録得止	
○即時スタート 12 時 00 分 00 秒 14時 30分 00秒 記録	停止
記録報題	
10 min. ▼ 0エンドレス 新編版定.● 詳細	設定
本体温度表示单位	
(○) 初氏(℃)	
 ・ ・ ・	

●記録開始日時(選択値:予約スタート/即時スタート)

予約スタート:設定した日時から記録を開始します。 即時スタート:設定終了後から記録を開始します。

- ●記録間隔(選択値:1.2.5.10.15.20.30秒 1.2.5.10.15.20.30.60分)
- ▼▲ボタンをクリックし、一覧から記録間隔を選択します。
- ●記録モード(選択値:ワンタイム/エンドレス)
- ワンタイム:記録データ数が16000 個に到達すると本体液晶画面に FULL が表示され、以降の記録を停止します。

エンドレス:記録データ数が16000個を超えると、1番古いデータから上書きします。

●本体温度表示単位(選択値:摂氏(℃)/華氏(°F)) 本体液晶表示部の測定値単位の変更ができます。 ※登録内容・本体電池残量は、設定値を受信すると表示されます。

- 3. 各条件設定後、[記録開始]ボタンをクリックすると、設定した内容が送信されます。
- 4.送信終了後、送信結果が表示され、[OK]ボタンをクリックすると、設定 が完了します。

●[設定値受信]ボタン

子機の記録条件、登録内容、本体電池残量が表示されます。

- ・登録内容:設定値を受信した子機のグループ名・子機名が表示されます。・
- ・本体電池残量:設定値を受信した子機の電池残量が表示されます。

●[記録停止]ボタン

記録中にデータロガーの記録を停止できます。

●[詳細設定]ボタン



【無線通信スタート設定】:無線通信での記録開始を禁止できます。

- 無線通信での記録開始を禁止したい場合[禁止]に、できるようにした場合[許可] にチェックします。
- 2. [OK] ボタンをクリックすると、設定が完了します。
- 【上下限値設定】: データコレクタで吸い上げた時に記録データが設定範囲内 かを判定します。
- 1.[この項目を設定する]にチェックし、上・下限値を入力します。
- 2. [OK] ボタンをクリックすると、設定が完了します。

RTR-51/52:記録データ吸い上げ

吸い上げた記録データは、暗号化された暗号化ファイルとサーモレ コーダ共通形式ファイルの2つの形式で保存できます。

▲注意

暗号化ファイルは、開く時に User ID と Password が必要です。このため、暗号化ファ イルを作成した時点での User ID と Password は必ず管理してください。もし、User ID と Password が分からなくなった場合、いかなる方法でもファイルを開くことがで きなくなります。

■ RTR-51/52 がパソコンと通信できるように接続する

接続方法は、23・24ページを参照してください。

■記録データの吸い上げをする

1.[RTR-51_52] を起動します。

2.[記録データ吸い上げ]タブをクリックします。

線テータ吸い上げ 記録スタート 注 取いたけるの	鮒倉ボート設定			
○会記録データ				[記録開始]
◎版い日和間指定	1 05123	前から おから	吸い上げ	ボタン
限い上げ状況			吸い上げキャンセ	吸い上げキャンセル
グループ名 :	子根名	:		
開始方法 :	記録モード	à.	回感い上げ終了後に	
開始日時 :	記錄開稿	:	一クラフを表示する	
データ種類 :	本体電池残量	:		表示する場合チャック?
0 25	50 75	100	36	
			~113	

吸い上げ範囲を選択し、[吸い上げ]ボタンをクリックします。
 ※初期設定では[吸い上げ終了後にグラフを表示する]にチェックされています。保存のみの場合はチェックを外してください。

4. [ファイルの指定] 画面が表示されます。 暗号化ファイルと共通形式ファイルの保存先とファイル名を指定します。

※[吸い上げ終了後にグラフを表示する]のチェックを外してある場合は、暗号化ファ イルのみ設定します。

	ファイルの指定 🛛
	吸い上げたデータは、オリジナルファイルとして、サーモレコーダ暗号化ファイルに保存されます。
	また、グラフを表示するときは、オリジナルファイルを、サーモレコーダ共通形式に復考して、このフ ァイルを開きます。
	(重要)現在のユーザIDとバスワードを必ず管理してください。ファイルを復号するときに必要です。
	サーモレコーダ暗号化ファイル名の指定
暗号化ファイル	●ファイル選択
	復号後のサーモレコーダ共通形式ファイル名の指定(グラフを聞くときのみ)
共通形式ファイル —	●ファイル選択
	〔[OK] 【ボタン】

- **5.** [OK] ボタンをクリックすると、吸い上げを開始します。
- 6. 吸い上げが完了すると、温度・湿度グラフが表示されます。
- ※ファイルは指定した保存先に".trc"(暗号化ファイル)、".trx"(サーモレコー ダ共通形式)の拡張子で保存されます。

● [吸い上げキャンセル]ボタン

吸い上げを途中で中止できます。

基本的な機能

RTR-53:記録スタート

■ RTR-53 がパソコンと通信できるように接続する

接続方法は、23・24ページを参照してください。

■記録条件の設定をする

1.[RTR-53] を起動します。

2.[記録スタート]タブをクリックし、記録条件の設定をします。

録ァー9吸い上げ」 aC様 スタート 「2週18末ート研定」		1	
Satirg グループ名: ※を称け回: 作用 140% 子保名: ざいます マット 2006 年 00 月 07 マット 2006 年 00 月 07 マット 2006 年 00 月 07	機定 機定 現在日時 2005年 09月 07日 13時 37分 34秒 予定終了日時 2005年 11月 02日 03時 00分 00行	記録開始 ● 19定信受信 ● 記録/存止 ●	 [記録開始] ボタン [設定値受信]ボタ [記録停止]ボタン
EXMINE EXMINE IO min. O IO Tンドレス	本体電池地量	ITHURE.	━-「詳細設定]ボタン
本律温度表示単位 ④ 摂氏(行) 〇 華氏(作)		- tur	
	本体表示設定。	IRCS	

本体表示設定

記録開始日時(選択値:予約スタート/即時スタート)

予約スタート:設定した日時から記録を開始します。 即時スタート:設定終了後から記録を開始します。

記録間隔(選択値: 1.2.5.10.15.20.30秒 1.2.5.10.15.20.30.60分)

▼▲ボタンをクリックし、一覧から記録間隔を選択します。

記録モード(選択値:ワンタイム/エンドレス)

ワンタイム:記録データ数が 8000 個に到達すると本体液晶画面に FULL が表示され、以降の 記録を停止します。

エンドレス:記録データ数が8000個を超えると、1番古いデータから上書きします。

本体温度表示単位(選択値: 摂氏(℃)/華氏(°F))

本体液晶表示部の測定値単位の変更ができます。

※登録内容・本体電池残量は、設定値を受信すると表示されます。

- 3. 各条件設定後、[記録開始]ボタンをクリックすると、設定した内容が送信されます。
- 4.送信終了後、送信結果が表示され、[OK]ボタンをクリックすると、設定 が完了します。

● [本体表示設定]ボタン

本体液晶画面の表示方法の設定ができます。

- 1. 設定したい表示方法を選択します。
- 2. [送信] ボタンをクリックすると、設定が完了します。



●[設定値受信]ボタン

子機の記録条件、登録内容、本体電池残量が表示されます。

- ・登録内容:設定値を受信した子機のグループ名・子機名が表示されます。
- 本体電池残量:設定値を受信した子機の電池残量が表示されます。

●[記録停止]ボタン

記録中にデータロガーの記録を停止できます。

●「詳細設定」ボタン

(詳細語空	
無線通信—	無線通信スタート設定	ОК
スタート設定	●茶止 ●計可 無線通信による記録の開始/変更を 限します	キャンセル
1.下阳体乳宁	上下限温度信設定 上限値: 0	上下閉:湿度値設定 上限値: %RH
工「限삩設た	▶暖値: ℃ ■この項目を設定する	▶ 瞬値: MRH ● この項目を設定する

【無線通信スタート設定】:無線通信での記録開始を禁止できます。

- 無線通信での記録開始を禁止したい場合[禁止]に、できるようにした場合[許可] にチェックします。
- 2. [OK] ボタンをクリックすると、設定が完了します。
- 【上下限値設定】:データコレクタで吸い上げた時に記録データが設定範囲内 かを判定します。
- 1.[この項目を設定する]にチェックし、上・下限値を入力します。
- 2. [OK] ボタンをクリックすると、設定が完了します。

基本的な機能

RTR-53:記録データ吸い上げ

吸い上げた記録データは、暗号化された暗号化ファイルとサーモレ コーダ共通形式ファイルの2つの形式で保存できます。

▲注意

暗号化ファイルは、開く時に User ID と Password が必要です。このため、暗号化ファ イルを作成した時点での User ID と Password は必ず管理してください。もし、User ID と Password が分からなくなった場合、いかなる方法でもファイルを開くことがで きなくなります。

■ RTR-53 がパソコンと通信できるように接続する

接続方法は、23・24ページを参照してください。

■記録データの吸い上げをする

1.[RTR-53] を起動します。

2.[記録データ吸い上げ]タブをクリックします。

取り上げ条件		
●吸い上げ時間指定	7 時間 💙 前から	◎ い上げ● 【記録開始】 ボタン
机止于状况		「「「」」」「「「「「」」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「
グループ名 :	子標名:	
開始方法 :	記録モード :	
開始日時 :	記録相對為: :	
データ種類 :	本体電池残量 :	
0 25	50 75 100	6

吸い上げ範囲を選択し、[吸い上げ]ボタンをクリックします。
 ※初期設定では[吸い上げ終了後にグラフを表示する]にチェックされています。保存のみの場合はチェックを外してください。

4. [ファイルの指定] 画面が表示されます。 暗号化ファイルと共通形式ファイルの保存先とファイル名を指定します。

※[吸い上げ終了後にグラフを表示する]のチェックを外してある場合は、暗号化ファ イルのみ設定します。

	ファイルの指定 🛛
	吸い上げたデータは、オリジナルファイルとして、サーモレコーダ暗号化ファイルに保存されます。
	また、グラフを表示するときは、オリジナルファイルを、サーモレコーダ共通形式に復考して、このフ ァイルを開きます。
	(重要)現在のユーザIDとバスワードを必ず管理してください。ファイルを復号するときに必要です。
	サーモレコーダ暗号化ファイル名の指定
暗号化ファイル	●ファイル選択
	復号後のサーモレコーダ共通形式ファイル名の指定(グラフを聞くときのみ)
共通形式ファイル —	●ファイル選択
	〔[OK] 【ボタン】

- **5.** [OK] ボタンをクリックすると、吸い上げを開始します。
- 6. 吸い上げが完了すると、温度・湿度グラフが表示されます。
- ※ファイルは指定した保存先に".trc"(暗号化ファイル)、".trx"(サーモレコー ダ共通形式)の拡張子で保存されます。

● [吸い上げキャンセル]ボタン

吸い上げを途中で中止できます。

基本的な機能

データコレクタ:記録データ吸い上げ

データコレクタで収集した記録データをパソコンに吸い上げます。 吸い上げた記録データは、暗号化された暗号化ファイルとサーモレ コーダ共通形式ファイルの2つの形式で保存できます。

▲注意

暗号化ファイルは、開く時に User ID と Password が必要です。このため、暗号化ファ イルを作成した時点での User ID と Password は必ず管理してください。もし、User ID と Password が分からなくなった場合、いかなる方法でもファイルを開くことがで きなくなります。

■データコレクタがパソコンと通信できるように接続する

接続方法は、17・18ページを参照してください。

■データコレクタのデータ情報を取得する

- 1.[データコレクタ]を起動します。
- 2.[記録データ吸い上げ]タブをクリックします。
- [データ情報取得]ボタンをクリックすると、通信を開始し、データコレ クタに保存されているデータのリストが表示されます。
 - ※ RTR-51/52/53 以外の装置は [----] と表示されます。 [----] と表示された装置 のデータ情報表示、データ吸い上げはできません。

-24	レクタの内容	ş				
No.	预置名	Ch1(5)1-		(子根)名	12時間86日44	データ収集日時
4 3 2 1	RTR-53 RTR-52 RTR-51 RTR-51	GROUP 2 GROUP 2 GROUP 2 GROUP 2 GROUP 2	kaki kaki kaki kaki	2	2005/09/29 0945'00 2005/09/29 0945'00 2005/09/29 0945'00 2005/09/28 16:3756	2005/09/29 10:13/21 2005/09/29 10:13/13 2005/09/29 10:13/02 2005/09/28 16:40/45
Ŧ	-244803	9	データ情報表示	ň	デー域い上げ) データ体験取得得。

■記録データの吸い上げをする

- 1. データリストから吸い上げたいデータを指定します。
 - ●複数のデータを一括して吸い上げたい場合は、〈Ctrl〉ボタンおよび〈Shift〉ボタン を使って吸い上げたいデータを指定します。(8 チャンネル分までです)

	18.D Recorder VLD 557(2) 通信(2) へんり(3) 12時デーが明い上げ 時を読む データコレクタの内容	for Windows - TR-57C/ :上下開始を 油油ホートの飲足	RTR-57C/RTR-5	70 E
データを指定する —	No. 获量名 Ch 4 RTR-63 ORC 2 RTR-61 GRC 1 RTR-61 GRC	1(500-5)& Ch2(740)& UP2 kok(2 UP2 kok(2 UP2 kok(1 UP2 kok(1 UP2 kok(1	82.5417856 E 14 2005.109.729 (09.4510) 2005.109.729 (09.4510) 2005.109.729 (09.4510) 2005.109.729 (09.4510) 2005.109.729 (09.4510)	デーク成業日時 2005/09/29 101121 2005/09/29 101302 2005/09/29 101302 2005/09/29 1040/45
	デージ論経防5件 デージ第2章	データ線幅表示 全デージ線線	デージ吸い上げ 全テージ環察 [1948]定	

 データ吸い上げ]ボタンをクリックすると、[ファイルの指定]画面が 表示されます。

※初期設定では、詳細設定で[データ吸い上げ後、ファイルに保存し、自動的にグラフに表示する]にチェックされています。保存のみの場合は[データ吸い上げ後、ファイルに保存する]チェックしてください。詳しくは 47 ページを参照してください。

暗号化ファイルと共通形式ファイルの保存先とファイル名を指定します。
 ※保存のみの場合は、暗号化ファイルのみ設定します。

	ファイルの指定 8
	吸い上げたデータは、オリジナルファイルとして、サーモレコーダ暗号化ファイルに保存されます。
	また、グラフを表示するときは、オリジナルファイルを、サーモレコーダ共通形式に選考して、このファイルを聞きます。
	(重要)現在のユーザIDとパスワードを必ず管理してください。ファイルを復号するときに必要です。
	サーモレコーダ暗号化ファイル名の指定
暗号化ファイル —	●ファイル選択
	復号後のサーモレコーダ共通形式ファイル名の指定(グラフを開くときのみ)
共通形式ファイル —	 ファイル選択

4. [OK] ボタンをクリックすると、吸い上げを開始します。

5. 吸い上げが完了すると、温度・湿度グラフが表示されます。

- ※ファイルは指定した保存先に".trc"(暗号化ファイル)、".trx"(サーモレ コーダ共通形式)の拡張子で保存されます。
- ※複数のデータを一括して吸い上げた場合は、データごとに指定したファイ ル名の後にデータリスト No. (No.1 → 001、No.2 → 002) がつきます。

●[詳細設定]ボタン



[データ吸い上げ後、ファイルに保存し、自動的にグラフに表示する]:

- データコレクタのデータを吸い上げ後、温度・湿度グラフを起動し、グラフを表示します。 ・吸い上げたデータは、暗号化ファイル(.trc)とサーモレコーダー共通形式(.trx)の 2種類ファイルに保存されます。
- ・複数のデータを同時に吸い上げた場合、全データを合成したデータとして、ファイル に保存されます。

[データ吸い上げ後、ファイルに保存する]

データコレクタのデータを吸い上げ後、暗号化ファイル (.trc) に保存します。

・データが複数選択されている場合は、3桁のデータ No. をファイル名の後ろに追加したファイル名で保存します。

(例えば、データ No. が 1、15、150のファイルを保存する場合には、[001]、[015]、 [150] がファイル名の後ろに追加されます。)

データコレクタ:その他の機能

データコレクタ設定画面では、以下の操作もできます。

※パソコンにデータコレクタを接続し、データコレクタの登録情報を取得し てから行ってください。

デー(1)取得 デー(2)表示	T-3LIT	データ14 得停止
<u>7</u> 5# <u>17</u> 6#	27 (7) KH	ペルプ
	B 8E	19 05

- ②「データ情報表示〕ボタン
 ⑥「全データ削除〕ボタン
- ③「データ吸いトげ」ボタン ⑦「全データ選択」ボタン
- (1)「データ情報取得」ボタン
 (5)「データ削除」ボタン
- ④「データ情報取得停止〕ボタン⑧「詳細設定〕ボタン

■「データ情報表示」ボタン

- データリストより指定した子機の詳細情報を表示します。
- 1. データリストよりデータ情報を表示したい子機を1台指定します。
- 2.「データ情報表示」ボタンをクリックすると、指定した子機の情報が表示 されます。

RIES	• DTD_62	Au	
1721 <u>8</u>	. 1	7 411 22	8. GROOT_2
BC FFIRING	; I min	718:45	: KOKI_3
記録方法	:エンドレス	Ch.1表示题	単位 :℃
記錄開始方法	:予約スタート		
記録データ数	: 29		
下限温度	: 設定値無		
上限温度	: 設定値無		
データ収集日時	: 2005/09/29	10:13'13	
記錄開始日時	: 2005/09/291	09:45'00	ок
			0.00

基本的な機能

■[データ情報取得停止]ボタン

データ情報取得中に[データ情報取得停止]ボタンをクリックすると、その 時点でデータ情報取得を停止できます。

▲注意

・停止した番号以降のデータについては、詳細データを取得しないのでデータ情報を表示することはできません。(但しデータ吸い上げを行うことはできます。)

【データ情報取得を途中で中止した場合】

NO.1,2は、データの吸い上げ・削除はできますが、データ情報の表示はできません。
 NO.3,4,5は、データ情報の取得が終了しているので、全ての動作ができます。



■[データ削除]ボタン

データリストより指定したデータをデータコレクタから削除します。

▲注意

・削除したデータは元に戻すことができないので注意してください。

- 1. データリストより削除したいデータを指定します。
- [データ削除]ボタンをクリックすると、メッセージが表示され、[はい] ボタンをクリックすると、データが削除されます。

■[全データ削除]ボタン

データコレクタからデータを全て削除します。

▲注意

・削除したデータは元に戻すことができないので注意してください。

■[全データ選択]ボタン

データリストにある全てのデータを選択します。

データコレクタ:本体の時刻設定

▲注意

データコレクタの日時が正確でないと、予約スタートの開始時刻、吸い上げたデータの記 録時刻が違ってしまうので正確に設定してください。 また、雷池交換後に時刻がくるう場合があります。交換後は時刻を確認してください。

■データコレクタがパソコンと通信できるように接続する

接続方法は、17・18ページを参照してください。

■時刻の設定をする

1. [データコレクタ]を起動します。

- 2.[時刻設定]タブをクリックします。
- **3.** 年 · 月 · 日 · 時刻を設定します。
 - 「指定された時刻を設定する」にチェックする
 任意で入力した時刻をデータコレクタに送信します。

	記錄于一時以上於「時行股業」上下開設業 imt#~10時家	
チェックする	データコレクシの特別設定	■ [時刻設定] ボタン
日時を入力する		
		Eur
	INHER .	180.05

●[指定された時刻を設定する]のチェックを外す パソコンの現在時刻をデータコレクタに送信します。

4. [時刻設定]ボタンをクリックすると、設定時刻が送信されます。

データコレクタ:上下限値設定

▲注意

データコレクタ本体がバージョン2以降のものは設定可能です。[ヘルプ]メニューより データコレクタ本体のパージョン情報で確認してください。

■データコレクタがパソコンと通信できるように接続する

接続方法は、17・18ページを参照してください。

■上限値/下限値の設定をする

1.[データコレクタ]を起動します。

2.[上下限値設定]タブをクリックします。

3. [変更する] にチェックし、上限値/下限値を入力します。



4. 上限値/下限値入力後、上下限値設定 [ON] にチェックし、[書き込み] ボタンをクリックすると、設定値が送信されます。

・ON にチェック:記録データ吸い上げ時にデータが設定範囲内かどうか判定します。

・OFF にチェック:上下限値が設定されていても判定は行いません。

●[読み込み]ボタン

現在のデータコレクタの上下限値設定を読み込みます。

基本的な機能

温度・湿度グラフの操作方法

■[温度・湿度グラフ]画面の名称と機能



AB カーソル移動ボタン

矢印ボタンをクリックするとA・B カーソルが同時に移動します。

② AB カーソルボタン

Aボタンまたは Bボタンをドラッグしながら左右に移動するとカーソルが移動します。

③ツールバー

使用頻度の高いコマンドをボタン化しています。

④メニューバー

コマンドが格納されているメニューが並んでいます。各メニューから各機能の設定ま たは表示をする時に使います。

⑤横軸移動ボタン

矢印ボタンをクリックすると時間軸が移動します。

⑥横軸ゲージバー

ゲージをドラッグしながら左右移動すると目標位置まで移動します。

⑦縦軸移動ボタン

矢印ボタンをクリックすると縦軸が移動します。

⑧縦軸ゲージバー

ゲージをドラッグしながら上下移動すると目標位置まで移動します。

⑨A・Bカーソルの位置情報

A・B カーソル位置の日付と大まかな時間、A カーソルと B カーソルの時間差が表示されます。

10各チャンネルデーター覧

グラフ画面下側に1から8チャンネルのデータ情報を表示します。

●マウスによる拡大

拡大したい領域を左ボタンでドラッグしながら囲むと拡大します。



●マウスによるメニュー表示

グラフ上でマウスの右ボタンをクリックするとメニューが表示されます。



■データー覧表画面の名称と機能

グラフ画面に表示されているデータを一覧表にしたものです。

●[日時/経過]ボタン

記録した日時で表示または記録を開始してからの経過時間で表示の切り替えができます。



記録日時で表示する

最高値:赤、最小値:青、平均値:ピンクで表示されています。 スクロールバー:ドラッグしながら上下移動させて目標位置まで移動できます。

■データ 一覧表					×
Max.Min.Ave計算範囲	最大 最小 平均	(日時/経過)	ED#]	閉じる	
経過時間	サンプル 1 *C 	サンプル 2 %RH ch.2	サンプル *C ch.3	3	
Oday 00:00'00 Oday 00:00'01 Oday 00:00'02 Oday 00:00'03 Oday 00:00'04 Oday 00:00'05 Oday 00:00'06	30.3 30.3 30.2 30.2 30.2 30.2 30.2 30.2 30.2	11 13 13 15 15 17 17	11.0 11.0 10.9 10.9 10.9 10.9 10.9		•
▲ ▶ No.1 → 1 3.7 / 863 line	: (右例っかで火ニューを表示)				

┃ 経過時間で表示する

●マウスによるメニュー表示

一覧表上でマウス右ボタンをクリックすると、メニューが表示されます。

■ データ 一覧表		×
Max.Min.Avg計算範囲 最大	最小 平均 旧時7羅過	印刷. 開じる
, 日時	サンプル 1 サンプル 2 *C *C #大価へ移動	サンプル 3 ・C ch.3
2005/09/12 13:21'10 2005/09/12 13:21'11 2005/09/12 13:21'12 2005/09/12 13:21'12 2005/09/12 13:21'14 2005/09/12 13:21'15	30. 30. 30. 30. 30. 30. 30. 400変更 30. マークのない行を表示する	11.0 11.0 10.9 10.9 10.9 10.9
2005/09/12 13:21'16 ▲ ▶ No.1 -> No.7 / 863 line C	30.2 17 おりックでメニューを表示)	10.8

グラフの表示方法の変更

■データ表示部の色を切り替え:[表示]メニューより

各チャンネルデータ一覧の文字をモノクロ表示/チャンネルカラー表示切り 替えができます。

■指定 ch. グラフ表示 ON / OFF: [表示]メニューより 指定したチャンネルデータのみグラフに表示できます。

- [指定 ch. 表示 ON/OFF] にマウスポインタを合わせると、チャンネル No. が表示されます。
- チャンネル No. をクリックするとチェックマークが消え、チェックが付いているチャンネル No. のデータのみグラフに表示されます。

※ツールバーの[チャンネル表示/非表示]アイコンからも同時に動作ができます。



Max. Min. Avg. 計算時間設定: [ツール]メニューより
 1.[新たに設定する Max. Min. Avg. 時間範囲]に計算範囲を入力します。



- ●[グラフ全体]ボタンをクリックすると、自動的にグラフ全体の日時が表示されます。 ●グラフ画面で開始位置を A カーソル、終了位置を B カーソルに合わせてから [Max. Min. Avg. 計算範囲設定]画面を開くと、自動的に日時が入力されます。
- **2.** [OK] ボタンをクリックすると、設定が完了します。

■記録条件の編集:[ツール]メニューより

チャンネル名の変更と記録開始日時の修正ができます。

変更したい[チャンネル No.]ボタンをクリックすると、編集項目欄にクリックしたチャンネル名と記録開始日時が表示されます。

●名前:半角 32 文字(全角 16 文字)まで入力できます。 ●開始時刻:年月日、時刻の変更ができます。

	記録条件の編集			
チャンネル No. —	米米 名前 1 サンブル 1 2 サンブル 2 3 サンブル 3 4 サンブル 4 5 サンブル 5 6 サンブル 6 エンブル 7 8	#356+361 2005/09/12 132110 2005/09/12 132110 2005/09/12 132110 2005/09/12 132113 2005/09/12 132113 2005/09/12 132113 2005/09/12 132113	OK ● キャンセル 元に戻す● ヘルプ	 [OK] ボタン 「元に戻す」 ボタン
編集項目欄 —	編集項目 選択チャンネル: 7	名前: (サンブル 7 開始日時: (2005 年 9 月) [13 時 (21 分)	12 ⊟ 13 №	

 変更後、[OK] ボタンをクリックすると、[変更理由の入力] 画面が表示 されます。

●ここで入力したメッセージは操作履歴ファイルに残り、履歴ビューアのメッセージ 欄に表示されます。

変更理由の入力(半角80文字まで)		
1		
	ОК 🗨	$-\begin{bmatrix} IOK \\ \pi g \end{pmatrix}$

3. 入力後、[OK] ボタンをクリックすると、編集が終了します。 続けて他のチャンネルの変更をする場合は、1.を繰り返してください。

グラフ表示時のデータの並び順を変更ができます。並び替えの変更には2種 類の方法があります。

【チャンネル No. をドラッグして並び替え】

1. 移動したいチャンネル No. をマウスでクリックします。

2. クリックしたまま、移動したいチャンネル No. までドラッグします。



2. [OK] ボタンをクリックすると、[変更理由の入力] 画面が表示されます。

●ここで入力したメッセージは操作履歴ファイルに残り、履歴ビューアのメッセージ 欄に表示されます。

変更理由の入力(半角80文字まで)		
1		
	ок 🗨	

入力後、[OK] ボタンをクリックすると、並び替えが終了します。
 ※[元に戻す]ボタンは設定中のみ有効です。設定後は、設定前の状態には戻せません。

【チャンネル No. を指定して並び替え】

1. From:に移動したいチャンネル No.を、To:に移動先のチャンネル No.を 指定します。

	Ch. 子母の並び音流 OK Ch. 名前 0K 1 サンブル 1 4+>ンセル 2 サンブル 2 4+>ンセル 3 サンブル 3 元に戻す 4 サンブル 4 元に戻す 5 サンブル 5 ヘルプ 6 サンブル 7 8 サンブル 8 1	[OK] ボタン [元に戻す] ボタン
例) Ch.3 を Ch.7 へ移動 — From:Ch.3、To:Ch.7 と設定する	並び替え From: Ch3 ▼ To: Ch7 ▼ 並び潜え●	[並び替え] ボタン

- [並び替え]ボタンをクリックし、[OK]ボタンをクリックすると、[変 更理由の入力]画面が表示されます。
 - ●ここで入力したメッセージは操作履歴ファイルに残り、履歴ビューアのメッセージ 欄に表示されます。

変更理由の入力(半角80文字まで)		
1		
	ок 🗨	[OK] ボタン

3. 入力後、[OK] ボタンをクリックすると、並び替えが終了します。

※[元に戻す]ボタンは設定中のみ有効です。設定後は、設定前の状態には戻せません。

■指定 ch. データ削除:[ツール]メニューより

1. 削除したいチャンネル No. をチェックします。



 [OK] ボタンをクリックすると、[変更理由の入力] 画面が表示されます。
 ●ここで入力したメッセージは操作履歴ファイルに残り、履歴ビューアのメッセージ 欄に表示されます。

変更理由の入力(半角80文字まで)		
	ок 🗨	[OK] ボタン

3. 入力後、[OK] ボタンをクリックすると、削除が終了します。

■単位切り替え℃⇔℉:[ツール]メニューより

[単位切り替え℃⇔°F]をクリックすると、自動的にグラフ画面のスケール、 各チャンネルデーター覧等の温度単位の変更が完了します。

■グラフカラー変更:[ツール]メニューより

1. 変更したい箇所のボタンをクリックすると、色見本が表示されます。

●チャンネル名、グラフ背景色、目盛り線色、拡大時 BOX 色、AB カーソル色の変更が できます。



2. 見本から好きな色を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



3. プレビューで確認後、[OK] ボタンをクリックすると、変更が完了します。 ※[初期値に戻す] ボタンをクリックすると、初期設定値に戻ります。

●ペン幅設定

折れ線グラフの線幅と目盛りの線幅を変更できます

- 1. [▼] ボタンをクリックし、折れ線グラフ/目盛りの線幅を変更します。
 - [▲] ボタンをクリックすると、数値が大きくなります。
 - [▼]ボタンをクリックすると、数値が小さくなります。

ガラフペン幅設定			
表示用	印刷用	OK	_ [OK]]
^{9'57} 🚺 🚉	7'77 3 📑	キャンセル	ボタン
目盛り 1 三	日盛り 3 三	へルプ	
1~10で指定して下さい	1~100で指定して下さい	初期設定に戻て	[初期値に戻す]
			ボタン

2. [OK] ボタンをクリックすると、設定が完了します。

※[初期値に戻す]ボタンをクリックすると、初期設定値に戻ります。

■ 画面をクリップボードにコピー: [ツール]メニューより [画面をクリップボードにコピー]をクリックすると、現在表示されている グラフ画面をクリップボードにコピーし、他のソフトにグラフを貼り付けて 使用できます。

グラフ

グラフ画面の操作方法

■拡大を元に戻す: [グラフ操作]メニューより 拡大表示されている場合、元の大きさに戻ります。

■倍率アップ/倍率ダウン:[グラフ操作]メニューより 一定の率でグラフ表示が拡大または縮小します。

■ AB カーソル右移動/ AB カーソル左移動

:[グラフ操作]メニューより

一定の率で AB カーソルが同時に右 または 左に移動します。

■グラフ右移動/グラフ左移動:[グラフ操作]メニューより グラフを一定の率で右または左に移動します。

■グラフ上移動/グラフ下移動:[グラフ操作]メニューより グラフを一定の率で上または下に移動します。 ■縦軸フルスケールの設定:[グラフ操作]メニューより 縦軸方向のフルスケールの範囲を設定できます。

- 1.オートまたはマニュアルのどちらかにチェックします。
 - ●オート:データの値に合わせて縦軸が自動的に切り替わります。
 - ●マニュアル:任意で縦軸フルスケールの上限/下限の設定ができます。



2. [OK] ボタンをクリックすると、設定が完了します。

※[初期値]ボタンをクリックすると、初期設定値に戻ります。

グラフ印刷

現在表示中のグラフを印刷します。

※グラフの大きさを変更したい場合は、Windowsのサイズを変更してから印刷してください。

■グラフ印刷:[ファイル]メニューより

印刷されたグラフの上部の左右には2つの日時が印刷されます。

①・通常は現在日時を表示します。

 ・印刷状態の読み込みを行い、グラフを印刷した場合は、印刷状態の保存を行った日時 を表示します。

②最初に印刷した時の日時を表示



《印刷プレビュー》

●印刷状態の保存

グラフ印刷を実行すると、[印刷状態を保存しますか?]と言うメッセージが表示されます。

温度・温度ガラフ	(VLD) 🛛 🔊
	態を保存しますか?
atriw	いいえい

保存したファイルは、記録データとグラフの拡大率、位置の情報を保存し、[保存した印 刷状態の読み込み]で読み込むと同じ状態のグラフが表示され、同じグラフを印刷するこ とができます。(ファイルの拡張子は "*.trp"です。)
■保存した印刷状態の読み込み:[ファイル]メニューより 前回印刷したグラフと同じものを表示し、印刷できます。

▲注意

- ・グラフ表示してる場合は、現在表示されているグラフは破棄され、新規で読み込まれます。
- 「保存した印刷状態の読み込み」で表示したグラフは、印刷操作やヘルプの参照など一部の機能以外は使えなくなります。
- 1. [ファイル]メニューより[保存した印刷状態の読み込み]を選択します。
- 読み込みたいファイルを指定し、[開く]ボタンをクリックすると、グラ フが表示されます。

アイル 2時に ファイル 場所の:	T&D Recorder \/L) for Windows	+ E r*	2 🛛	
	1 ab Recorder VII				
m a 2 2 March					
					(T. 11)
7ァイル名(N):	サンプル.trp			RK@ ●	
1	Lange and the second se				レホタ

開きたいファイルを指定する

記録データ保存

グラフ表示後にデータの編集を行った場合は、必要に応じてデータ 保存を行ってください。

■保存法方には3種類あります。

- ●[ファイル]メニューより[全データ上書き保存] ファイル名、保存場所等を変更しないで保存します。ツールパーの[保存]アイコンでも同じ動作ができます。
- [ファイル]メニューより [全データ名前を付けて保存] 新しいファイルに保存します。
- ●[ファイル]メニューより[表示範囲を保存] グラフに表示されている範囲のデータを保存します。必要なデータのみファイル保存 したい時に便利です。
- 例) [全データ名前を付けて保存]
- [ファイル]メニューより[全データ名前を付けて保存]をクリックします。

保存する場所を — 指定する	テ [*] ータファイル 名の (呆存する場所 ():	指定 C T&D Recorder VLD for Windows		
ファイル名を 入力する	 ファイル名(N): ファイルの種類(T): 	サンブル サーモレコーダ:共通形式データファイル (*.trx)	(保存() ・ ・ キャンセ	[保存] ボタン

- 2.[保存する場所]を指定し、[ファイル名]を入力します。
- 3. [保存] ボタンをクリックすると、保存が完了します。

テキストファイル作成

吸い上げた記録データを基に、他の表計算ソフトウェアで読み込み ができるテキストファイルを作成します。

- [ファイル]メニューより[データをテキスト形式で保存]をクリックします。
- 2.[保存するテキスト形式]と[保存する範囲]を選択し、[OK] ボタンを クリックします。
 - カンマ、タブ、スペース、セミコロンの各コードは、Excel・Lotus などの表計算ソ フトでテキストファイルを読み込んだ際にセルの区切りとして使われるコードです。



3. ファイルの保存先を指定し、[保存]ボタンをクリックすると、テキスト ファイルが作成されます。



※[温度・湿度グラフ]ではテキストファイルを読み込むことはできません。

保存ファイルを開く

保存してあるファイルをグラフ表示する場合は、ファイル名を指定 して開きます。

例)暗号化ファイルを開く

▲注意

暗号化ファイルを開く場合は、User ID と Password が必要です。ファイルを作成した 時の User ID と Password を入力します。User ID と Password が分からなくなった場合、 いかなる方法でもファイルを開くことができなくなります。

1. グラフ画面の [ファイル] メニューより [開く] をクリックします。

2. 表示したい暗号化ファイルを指定し、[開く]ボタンをクリックします

	データファイルを開	K		2	
	ファイルの場所の	20 85210004010	- + E 💣		
開きたいファイル	image				
を指定する	10日本通形式ファイ.	l), trx			
	7- (1.2.00)	女男/ コー/リーー		BB((0)	[開く]
	79170461 <u>0</u> 7	Fight Control Protocol	L	UD YAN	「ボタン
	ファイルの種類(①)	サーモレコーダディータファイル(*.trx.*.trc)	<u> </u>	キャンセル	
	一選択ファイルの情	報			
	サーモレコーダ暗	号化ファイル			

共通形式ファイル ― を指定した場合	10月11日の日本 中国形式ファイ	rx Is fre
	ファイル名(11): ファイルの種類(11):	共通形式ファイル trx 開い(<u>0</u>) サーモレコーダデータファイル (*.trx.*.trc) マキャンセル
	 選択ファイルの情 CHJ 名前GROU 2005/10/2 CH2 名前GROU 2005/10/2 CH3 名前GROU 	線 2.2 / Loki 2. 記録開題 Imin,データ数:00 2.2 / Loki 2. 2.2 / Loki 1. 2.2 / Loki 1. 記録問題 Imin,データ数:00 2.2 / Loki 1. 記録問題 Imin,データ数:00

共通形式ファイルの場合、指定したファイルの情報を表示

 復号後のファイル名を入力し、[保存]ボタンをクリックすると、グラフ が表示されます。

復号後のファイノ	を指定してください(TRX形式)		23	
保存する場所の	85210004010	▼ ← € ☆		
<mark>⊜</mark> image [∰共}通形式ファイ	ik.trx			
ファイル名(い): ファイルの種類(T):	暗号化ファイル		保存(5)	[保存] ボタン

【他のユーザーが暗号化ファイルを開く場合】

復号後のファイル名を入力し、[保存]ボタンをクリックすると、メッセージが表示されます。



- **2.** [OK] ボタンをクリックすると、ログイン時と同じ [User ID]、[Password] の入力画面が表示されます。
- 3. 入力後、[OK] ボタンをクリックすると、グラフが表示されます。

履歴ビューア

各アプリケーションでは、操作権限が必要な操作は操作履歴が記録 され、自動的に T&D Recorder VLD for Windows をインストールし たフォルダに保存されます。

・温度・湿度グラフの操作履歴ファイル:
 "フォルダ名(拡張子を除く)" Hist.dat

・印刷状態を読み込んだ時の操作履歴ファイル:

"フォルダ名(拡張子を除く)"_pri_Hist.dat

・温度・湿度グラフ以外の操作履歴ファイル:

"フォルダ名(拡張子を除く)"Logger_Hist.dat

履歴が1万件を超えた場合、****+Hist_0001.dat へ新たに保存されます。さらに、1万件を超えた場合、***+Hist_0002.dat, ***+Hist_0003.dat ... となります。

※履歴ファイルが破損した場合、履歴ファイルへの書き込みが失敗した場合も同様 に保存されます。

破損してしまった履歴ファイルは見ることができません。

🛃 履歴ビューア -Log	gger_Hist.dat-					
77(IL(E) 操作(A) 表示	W ∿17°⊞					
時刻	タスク	標能	ユーザーID	メッセージ		^
2005/09/12 09:30'02	ユーザー管理ツール	ログイン	admin			
2005/09/12 10:22:35	ユーザー管理ツール	12/0F	admin			
2005/03/12 10:22 46	温度温度グラフ	ログアウト	admin			
2005/09/14 15:29'29	温度湿度グラフ	ログイン	admin			
2005/09/14 15:29'57	温度温度グラフ	ログアウト	admin			
2005/09/14 15:30 50 2005/09/14 15:31 20	温度湿度クラフ 温度湿度が高っ	ログイン	admin			
2005/09/14 15:37'20	温度湿度グラフ	ログイン	admin			
2005/09/14 17:12'59	温度湿度グラフ	ログアウト	admin			-
2005/09/15 11:16'54	データコレクタ	日クイン		子棚登録		
2005/08/15 11:38 0/	データコレクタ	ログイン	admin	于俄夏尔		
2005/09/15 11:42'16	データコレクタ	子機登録情報取得	admin	子棚登録		
2005/09/15 11:42'22	データコレクタ	2刀其月仁	admin	子機登錄		
2005/09/15 11:42'30	データコレクタ	子機登錄情報取得	admin	子棚登録		
2005/03/15 11:42 46 2005/09/16 11:50'09	テージョレジジ	ログイント	admin	于48至4年		~
<	- / 64/ //	4212		1	>	
-				-	-	
					0/33	11

履歴ビューアには操作日時、ユーザー ID、タスク等の条件でフィルタ リングして表示したり、表示中の履歴情報をテキスト形式で保存する ことができます。また、[時刻]や[タスク]などの各タイトル部分 をクリックすると、そのタイトルの項目の内容でソートされます。

●履歴ファイルを開く

保存されている履歴ファイルを開きます。

1.[ファイル]メニューより[履歴ファイルを開く]をクリックします。

	取扱ファイルを開く ファイルを開く つってルの取用の つ T&D Recorder VLD for Windows	- + 6 d' 5-	3
開きたいファイルを — 指定する			
	2m(A-60): サンプル,Hintdat 2m(A-0機器(2): 課意2m(A-64a)	 ・ ・ ・	[開く] <i>ボタン</i>

 表示したい履歴ビューアを指定し、[開く]ボタンをクリックすると、履 歴ビューアに表示されます。

●テキスト形式で保存

履歴ビューアが表示している履歴情報をテキスト形式で保存します。

1.[ファイル]メニューより[テキスト形式で保存]をクリックします。

	TANK MARKA	9.75		-	23	
保存する場所を —	保存才否规则中	T&D Recorder	VLD for Windows			
指定する	最近使ったファイル					
	T20het					
	21 F#15/h					
	71 J.Cz-9					
	74 200-h		-			[保存]
	114012-2	77-11-名00:	デキストサンプル		(\$775	
テキスト形式を —		ファイルの種類の	ラキストのフ区切りX+tit)	<u>·</u>	***>\til	
ノイストルムと			テキストリカンマ区も別UKAted			
指定する						

2.保存先を指定し、ファイル名を入力します。

3.ファイルの種類を指定し、[保存]ボタンをクリックすると、保存されます。

その他の機

能

●フィルタ

履歴ビューアに表示する履歴情報の条件を設定します。

1.[操作]メニューより[フィルタ]をクリックします。

222 戸 データルシタ 戦策 デーダ級に任す ユーザーD 「オペ石 D 間路 D 間のかの ののののタイ 二 102742 間電日時 取めらのタイ1 二 102742	
編載 〒一英秋い日子 ユーザーID マホペロ 開始から 1 005/09/21 → 102742 終7 - 開登日時 1 205/09/21 → 102742	•
ユーザーD (マホマン) 開始 海初から I (2005/09/21 二) [02742 株子 指定日約 I (2005/09/21 二) [02742	
開始 「離初から」 2005/09/21 102742 練了 指変目時 2005/09/21 102742	
陳初から ▼ 2005/09/21 ☆ 10.27.42 終7 - 指定日時 ▼ 2005/09/21 ☆ 10.27.42	
終了	
指定日時 🕑 2005/09/21 🔆 10.27.42	
	*
[1

●タスク

[▼]ボタンをクリックすると、アプリケーションのリストから表示したいアプリケーションを選択します。

●機能

[▼]ボタンをクリックし、動作のリストから表示したい動作を選択します。

User ID

[▼] ボタンをクリックし、登録されてい User ID のリストから表示したい User ID を選択 します。

●開始/終了

[▼]ボタンをクリックし、表示範囲を設定します。

- 条件選択終了後、[Apply] ボタンまたは [OK] ボタンをクリックすると、 選択した条件で履歴ビューアを表示します。
 - ・[Apply] ボタン:ボタンクリック後も設定画面を表示する
 - [OK] ボタン:ボタンクリック後に設定画面が閉じる

●時刻書式

履歴ビューアの時刻の表示形式の切り替えができます。

[表示]メニューより[履歴ファイルを開く]にマウスポインタを合わせると、時刻の表示形式が表示されます。



2. 表示したい形式をクリックすると、設定が完了します。

●ステータスバー:[表示]メニューより[ステータスバー] 履歴ビューアのステータスバーの表示/非表示の切り替えができます。

●更新: [表示]メニューより [更新] 履歴ビューアの表示を更新します。

再インストール

T&D Recorder VLD for Windows の再インストールを行う場合は、 アンインストールを行ってからインストールをしてください。また、 アンインストールをする際は T&D Recorder VLD for Windows 内の 全てのアプリケーションを終了してから行ってください。

- ※ T&D Recorder VLD for Windows をインストールするパソコンでは、アド ミニストレータ(Windows の管理者)の権限が必要です。
- Windows のコントロールパネルの[プログラムの追加と削除]アイコン をクリックします。
- 現在インストールされているプログラムの中から T&D Recorder VLD for Windows を選択し、[変更と削除]ボタンをクリックします。
- [InstallShield ウィザード]が表示されます。
 [削除]にチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

	T&D Recorder	VLD for Windows - InstallShield Wizard 🛛 🔀	
	フログラムを実更	、修正、または削除します。	
	T&D Recorder インストールを変更 の変更(M)	VLD for Windows セットアップ・バテインス フログラムへようこそ。このフログラムを使って、現在の 」することができます。 ふのオフシュノを切っりしてください。	
	1	追加する新しいフログラム 機能を堪訳するか、あるいは和除するインストール済みの機能を増 択してください。	
		前回のセットアップでインストールしたすべてのフログラム 機能を再インストールします。	
削除にチェック する		すべてのインストールされている機能を利用すします。	
	Instal/Shield	〈 戻る(日) (次へ 10)	【次へ】 ボタン

- 4. 手順に従いアンインストールを行ってください。
- 5. アンインストールが終了したら、[インストール]の手順に従い再インストールを行ってください。
- ※アンインストールを行っても、インストールを行ったフォルダに保存したデータファイ ルや履歴ファイルは、そのままインストールを行ったフォルダに残ります。

システムの移動について

今まで使用していた T&D Recorder VLD for Windows を別のコン ピュータへ移動したいとき、移動先のコンピュータにいくつかの ファイルをコピーすれば、システムの移動ができます。

- 今まで使用していた T&D Recorder VLD for Windows のインストール先 フォルダから次のファイルを確認します。
 - TdUserManager.dat
 - Logger_Hist.dat
- **2.** 移動先のコンピュータに T&D Recorder VLD for Windows をインストール します。
- 3. 移動先のコンピュータの T&D Recorder VLD for Windows インストール先 フォルダに 1. で確認した 2 つのファイルをコピーします。
- 今まで使用していた T&D Recorder VLD for Windows のインストール先 フォルダから次のファイルを確認します。
 - ●Logger_Hist_****・dat(過去の履歴ファイル)
 - ●温度湿度グラフで使用したデータの履歴ファイル
 - ●印刷状態を読み込んだときの履歴ファイル

上記のファイルは、ユーザーが作成したデータフォルダに存在する場合も ありますので、ファイル名に "_Hist" を含むファイルを検索してください。

5.3.と同様に、移動先のコンピュータに4.のファイルをコピーします。

その他の機能

TandD Recorder Access Control について

T&D Recorder VLD for Windows のアプリケーションを起動すると、 ログインや操作権限の制御を行う制御プログラム T&D Recorder Access Control が同時に起動します。

この制御プログラムが起動すると、タスクトレイに以下のアイコンが表示されます。



そして、すべての T&D Recorder VLD for Windows のアプリケーションが終了すると、制御プログラムも自動的に終了します。

ユーザーは、通常、この制御プログラムを操作することはありませんが、もし、すべての T&D Recorder VLD for Windows のアプリケーションが終了しても、タスクトレイにアイコンが残り続けている場合は、アイコンを右クリックして[終了]を選択すると、制御プログラムは終了します。



また、〈Ctrl〉ボタンを押しながら、右クリックをすると、現在ログ インしているユーザー名が、メニューの一番上に表示されます。



その他の機能

困ったときは

- Q1 パソコンとシリアル通信ができないのですが…
- A 自動検出を2、3回試してみてください。
- A 本体の電源が入っているか確認してください
- A パソコンと本体が正しく接続されているか確認してください。シリア ルポート(RS-232C)以外の通信ポート(プリンタポートなど)に接 続していないか確認してください。
- A ソフトウェアから本体の動作設定ができるか確認してください。
- A お使いのパソコン以外にパソコンがある場合は、他のパソコンで試してみてください。
- A お使いのパソコンに省電力機能がある場合、シリアルポートを使用しない設定になっていないか確認してください。
- A パソコンの BIOS でシリアルポートが使用不可能になっていないか確認してください。
- A シリアルポートが使用不可能になっていないか確認してください。 オールインワンパソコンに多いのですが、モデム等にリソースを使用 されている場合があります。

【確認方法】

①デバイスマネージャを表示します。

- 【スタート】メニューより【マイコンピュータ】を右クリックし、プロ パティをクリックします。
- システムのプロパティ画面の[ハードウェア]タブをクリックし、[デ バイスマネージャ]ボタンをクリックすると、デバイスマネージャ画 面が表示されます。
- ②[デバイスマネージャ]の[ポート (COM&LPT)]をクリックし、下に [通信ポート (COM1)]または[通信ポート (COM2)]があるかを確認 してください。ポートの表示がある場合は、通信ポートの使用が可能です。
 - ●[!][×]マークがついている場合は、通信ポートの使用はできません。通信 ポートが使用できない場合は、パソコンのメーカーへお問い合わせください。
 ※[!]マークの付いている通信ポートを選択し、[プロパティ]ボタンをクリッ クすると、デバイスの詳細が表示できます。

- A モデム内蔵のパソコンで、通信ポートをモデムが使用していないか確認してください。モデムが通信ポートを使用している場合はそのポートは使用できません。モデムの使用をやめるか、他のポートを使用してください。
- A パソコンにシリアルポートがない場合は、USB シリアル変換ケーブ ルを使い USB で通信してください。 推奨 USB シリアル変換ケーブルは、I.O DATA 社 USB-RSAQ3 と、 ELECOM 社 UC-SGT です。 NEC 製 Lavie J / ートパソコン (NEC LJ-500) をお使いの方は、 I.O DATA 社 USB-RSAQ3 をご使用ください。
- A シリアルポート (RS-232C) の切り換え機をつけたり、通信ケーブル を延長すると通信できない事があります。
- A 他の通信ソフトが起動していないか確認してください。
- A デスクトップ機でシリアルポートが2つ以上ある場合は、通信ケーブ ルを別のシリアルポートに差し換えて通信をしてみてください。

通信ケーブルがパソコンに接続できないのですが…

A 本体に付属されている通信ケーブルは、パソコンのシリアルポート (D-Sub9ピンオスコネクタ)に接続してください。直接接続できない場合は、以下の変換アダプタ(ジェンダーチェンジャ)が必要になります。



- ・パソコンのコネクタ形状が D-Sub 9 ピンオスの場合:変換コネクタ不要
- ・パソコンのコネクタ形状が D-Sub 25 ピンメスの場合:変換コネクタ要 D-Sub 25 ピンオス D-Sub 9 ピンオス
- ・パソコンのコネクタ形状がハーフピッチ 14 ピンメスの場合:変換コネクタ要 ハーフピッチ 14 ピンオス D-Sub 25 ピンオスと D-Sub 25 ピンメス D-Sub 9 ピン オスの 2 本または、ハーフピッチ 14 ピンオス D-Sub 9 ピンオス

▲注意

変換アダプタは、全てストレートのものを使用してください。

そ

の他

Q3 記録データの日付や時刻が違っているのですが…

- A 本体には時計機能は搭載されていません。予約時刻または記録データの吸い上げ後に表示される日時はパソコンの日時が書き込まれます。 パソコンの時計が正確でないと記録データにも影響がでます。
- Q4 暗号化ファイルを開くときの User ID と Password を忘れて しまいました。暗号化ファイルを開く手段はありますか?
- A 暗号化ファイルを開く手段はありません。
- Q5 ファイル保存の画面では無操作のタイムアウトにならないの ですが…
- A Windowsの共通ダイアログ(ファイルダイアログ、印刷ダイアログ やカラーダイアログ)とグラフ印刷プレビューにはタイムアウトが無 いようになっています。
- Q6 暗号化ファイルを別のファイル名でコピーしても開けます か?
- A 開けます。
- Q7 温度・湿度グラフで印刷状態ファイルを読み込んだら、グラ フの様々な操作ができないのですが…
- A 印刷状態ファイルを読み込む目的は、以前に印刷したグラフと同じグラフを印刷することです。このため、グラフの形を変えてしまう操作はできないようになっています。[ファイル]メニューの[開く]からあらためて温湿度データを開けば、操作の制限は解除されます。また、温度・湿度グラフを再起動しても、操作の制限は解除されます。

Q8 現在ログインしているユーザー名を知りたいのですが…

A タスクトレイの ⑤アイコン上で〈Ctrl〉ボタンを押しながら、マウスの 右クリックを行うと、メニューの一番上にユーザー名が表示されます。



- Q9 操作履歴が消えてしまったのですが…
- A 履歴の件数が10,000件を超えた場合、履歴ファイルが破損した場合、 履歴ファイルへの書込みが失敗した場合は、バックアップファイルを 作成して、新規に履歴ファイルを作成します。履歴ファイルが破損し た以外は、以前の履歴を見ることができます。 詳しくは73ページを参照してください。

84

その他

製品仕様

■ユーザー管理ツール

機能 ユーザー登録、ユーザー権限修正、ユーザー削除、時刻書式

■子機登録

対応機種	RTR-51/52/53、RTR-57U、RTR-57C
機能	登録情報取得、新規登録、登録の変更/削除、一覧の情報を転送、初期化、 登録可能数の設定、子機情報表示、通信ポート設定
ファイル出力	登録内容の専用ファイル出力、登録内容のテキストファイル出力、

■RTR-51 / 52

通信機能	記録スタート設定(即時/予約)、記録停止、本体設定値受信(記録間隔・
	記録モード・上下限値・無線通信による記録開始保護/設定)、記録デー
	タ吸い上げ、記録データ吸い上げキャンセル、子機登録
その他の機能	通信ポート設定

RTR-53

通信機能	記録スタート設定(即時/予約)、記録停止、本体設定値受信(記録間隔・
	記録モード・上下限値・無線通信による記録開始保護/設定)、記録デー
	夕吸い上げ、記録データ吸い上げキャンセル、子機登録
その他の機能	通信ポート設定

■データコレクタ

通信機能	データ情報取得、データ情報表示、データ削除、データ吸い上げ、本体
	時刻設定、上下限値設定、子機登録
その他の機能	通信ポート設定

■温度・湿度グラフ (VLD)

対応機種	RTR-5、TR-5 シリーズ
チャンネル数	8 チャンネル 同時表示/処理
〔画面表示〕	
グラフ	チャンネル毎の温度/湿度の折れ線グラフ表示(マウス、キーボードに
	よるグラフの拡大/縮小/スクロール表示可能)、チャンネル毎の表示
	カラー変更、チャンネル毎の表示/非表示切り替え
データ	チャンネル名、記録間隔、データ数、最高値、最小値、平均値、単位、
	任意な2点(ABカーソル位置)の温湿度/日時、任意な2点(ABカーソ
	ル位置)間の温湿度差の算出値
その他の機能	データー覧表示、印刷状態読み込み、計算範囲(期間)設定、データメ
	ンテナンス、チャンネル毎のデータ削除、チャンネル毎のデータ並び替え、
	縦軸フルスケール設定
ファイル出力	専用データファイル出力、テキストファイル (CSV 等) 出力、印刷状態出力
印刷	グラフ印刷、データー覧印刷

■履歴ビューア

機能 履歴ファイルの読み込み、履歴の表示・ソート・フィルタ、時刻の表示 書式、テキストファイル (CSV 等)出力

■パソコンの動作環境

OS	Micrsoft Windows [®] 2000 / XP 日本語版
PC/CPU	Windows が安定して動作する環境
メモリ容量	Windows が安定して動作する容量
ディスク領域	10MB 以上の空き領域(データは別途空き領域が必要)
モニタ	SVGA (800 × 600 以上推奨)、256 色以上表示可能

※ T&D Recorder VLD for Windows をインストールするパソコンではアドミニストレータ (Windows の管理 者)の権限が必要になる場合があります。

■付属品

ソフトウェア T&D Recorder VLD for Windows CD-ROM 1枚、取扱説明書 1部、 パリデーション証明書 1枚

その他

■製品に関するお問い合わせ先

株式会社 ティアンドデイ

〒390-0852 長野県松本市島立 817-1

TEL:0263-40-0131 FAX:0263-40-3152

お問い合わせ受付時間

月曜日~金曜日(弊社休日は除く) 9:00~12:00 / 13:00~17:00

[ホームページ]

ホームページを開設しています。各種製品の最新情報や、イベント 情報、ソフトウェアの提供、サポート案内など、ティアンドデイの 情報を発信しています。是非ご覧ください。

http://www.tandd.co.jp/

T&D Recorder VLD for Windows® 取扱説明書

2009年4月 第2刷 発行

発行 株式会社 ティアンドデイ

Copyright 2006 T&D Corporation. All rights reserve.

再生紙を使用しています。